

# 文化庁京都移転に係るシンポジウム及びアイデアコンテスト開催業務仕様書

## 業務名

文化庁京都移転に係るシンポジウム及びアイデアコンテスト開催業務

## 1 事業の趣旨・目的

文化庁の京都への全面的な移転という歴史的な決定から、早2年以上が経過し、平成29年4月には、一部先行移転となる「文化庁地域文化創生本部」が発足、新たな文化行政の推進に向けて大きな一歩を踏み出した。また、同年7月には、「文化庁移転協議会」でとりまとめられた『新・文化庁の組織体制の整備と本格移転に向けて』において、『新・文化庁』の構築に向けた機能強化と組織改革の方向性が示された。

しかしながら、京都への本格移転がまだ数年先であること、文化庁の移転は一般の方々には実感のしにくい出来事であることから、京都移転に対する国民の関心は決して高いものとは言えないと考えられる。

本シンポジウムは、普段から文化（ハイカルチャー）に関心を持っている方々はもちろん、そういった文化への関心が高いとは言えない方々にも、文化庁移転に関心を持ってもらえるような内容とし、京都移転に対する国民的理解の醸成に繋げる。

合わせて、文化庁移転に伴う新しい文化政策のアイデアコンテストを開催することで、更なる国民的理解の醸成を促進する。

## 2 委託業務内容

### (1) シンポジウム及びアイデアコンテスト開催に係る企画・運営・広報

ア シンポジウムの企画（以下の概要を踏まえ、京都内外の幅広い世代から集客が見込める企画にすること）

#### ■ シンポジウム概要

（提案内容により文化庁京都移転準備実行委員会（以下「本委員会」という。）と協議のうえ決定）

開催日程：平成30年12月23日（日・祝）

開催時間：午後1時から午後5時までのうち3時間程度

開催場所：京都劇場（京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル 京都駅ビル内）を想定

※会場費は受託者が負担

参加費：無料

主催：文化庁京都移転準備実行委員会

- ・本シンポジウムを通じて、文化庁の京都移転について全国に発信するにあたり、文化に造詣の深い有識者や著名人等を招聘し、パネルディスカッションを行うこと。内容は、普段から文化（ハイカルチャー）に関心を持っている方々はもちろん、そういった文化への関心が高いとは言えない方々にも、例えばマンガ・アニメなどのコンテンツ産業や科学技術と融合した文化創造などの切り口から「文化」を取り上げることにより、文化庁移転に関心を持ってもらえるような内容とすること。

テーマ例：「文化芸術による新しい価値の創出と地方創生」

メディア芸術、伝統文化をはじめとする文化芸術と他分野との連携や、文化芸術と最新テクノロジーとの融合・コラボレーション 等

- ・オープニングイベント（メディアアート、漫才・伝統芸能の披露等）、著名人によるトークイベントなど、集客が期待できる内容を盛り込むこと（招聘の実現可能性を必ず説明すること）
- ・オープニングからエンディングまで、集客が見込める工夫を行うこと
- ・ホワイエ、近隣施設等を活用した、集客が見込める文化に関する情報発信等について企画すること（シンポジウム参加者以外の方も参加できるものが望ましい）  
例：メディアアート展示、トークショー、パネル展示、ゆるキャラ祭 等
- ・アイデアコンテストの受賞者発表会（詳細後述）を盛り込むこと

## イ シンポジウムの運営

- ・出演者への出演依頼、連絡調整（打ち合わせ含む）、当日のアテンド・時間管理・飲料水の提供、謝金の支払
- ・会場調整、会場費支払
- ・会場設営（看板等装飾、音響、照明、映像等）、撤去（会場との連絡調整、打ち合わせ含む）
- ・司会者及び手話通訳の手配、謝金の支払
- ・進行管理（会場レイアウト図、タイムテーブル、運営マニュアル、進行台本等の資料作成含む）
- ・参加者の受付・案内・誘導（来場者数の把握含む）
- ・安全管理
- ・イベント保険への加入と保険料の支払（対人・対物補償を含んだ賠償責任補償）
- ・当日配布資料等の作成（プログラムの作成、印刷、同封チラシ等の袋詰め作業含む）  
※すべての配布資料（アンケート含む）は本委員会と協議のうえ決定すること
- ・参加者へのアンケート実施・回答集計・分析など  
※アンケートについては、府民市民等さまざまな立場における満足度・要望などが聴取できるよう工夫するとともに、可能な限り多数の回答回収に努めること
- ・開催記録、議事要旨、文字起こし、記録写真の作成

## ウ アイデアコンテストの運営

### ■ アイデアコンテスト概要（提案内容により本委員会と協議のうえ決定）

対象者：京都府内外の一般市民

※多数の応募を確保できるよう、広報等の工夫をすること

募集テーマ：「新しい文化政策」

「新・文化庁」に期待される、観光、まちづくり、福祉、教育、産業などの様々な関連分野と連携した文化政策など、新しい文化政策のアイデアを募集

開催日程：・募集期間：7月20日～10月22日

（予定）・書類審査：10月下旬頃

・プレゼンテーション審査：11月中下旬頃

・受賞者発表会：12月23日（日・祝）

開催場所：①プレゼンテーション審査

京都市内で交通至便な場所が望ましい

※会場費は受託者が負担

②受賞者発表会

シンポジウム（前述）内で実施（同会場）

応募費用：無料（提案書提出に係る費用及び受賞者発表会以外の交通費は応募者負担）

主催：文化庁京都移転準備実行委員会

- ①プレゼンテーション審査（予定内容：2～3時間程度、1回開催（土・日・祝）、一般参加不可（報道関係者のみ参加予定）、発表者は7～8組程度、受賞者は3組、審査員は3人程度）
  - ・審査の円滑な実施に向けた当日のプログラム内容等の企画・検討
  - ・審査員への就任依頼・連絡調整、当日のアテンド・時間管理・飲料水の提供、謝金の支払  
※審査員候補は本委員会にて選定
  - ・会場選定、会場調整、会場費支払  
※発表者席及び審査員席のほか、事務局席（20席程度）、記者席（撮影場所含む）を設けられ、スクリーンにPC映像を投影しての発表ができる会場を選定すること
  - ・会場設営（看板等装飾、音響、照明、映像設備、発表で用いるPCのセッティング等）、撤去
  - ・進行管理（会場レイアウト図、タイムテーブル、運営マニュアル、進行台本等の資料作成、発表時間管理含む）
  - ・発表者との事前調整（問合せ対応、プレゼンテーション審査参加に係る事務連絡等）
  - ・参加者の当日受付・案内・誘導（報道関係者等への対応含む）  
※受付や控え室等にスタッフを置き、スケジュールに支障が出ない案内・誘導に務めること
  - ・安全管理
  - ・表彰状、賞金の用意（最優秀賞1点、優秀賞1点、奨励賞1点の表彰を予定）  
※賞金想定：最優秀賞20万円、優秀賞10万円、奨励賞5万円

- ・当日配布資料（プログラム・審査員用採点書類等）の作成、印刷  
※すべての配布資料は本委員会と協議のうえ決定すること
- ・開催記録、発言起こし、発表要旨、記録写真の作成
- ・特設 WEB サイトへの開催報告掲載（本コンテストの趣旨及び内容が簡潔に理解できるもの）  
※提案資料を掲載すること  
※WEB 公開にあたっては、受託者により必要な関係者に事前の了解を得ること

- ②受賞者発表会（シンポジウム内で受賞者による発表を実施、20分～30分程度を予定）
- ・発表者の案内・誘導（来場受付後の控え室または指定席への案内、発表時の舞台への誘導等）
  - ・発表者への交通費の支払（各組最大3人、各人への支払額上限4万円を予定）
  - ・発表に係る準備・撤去作業（発表で用いる PC、映像機器のセッティング等）
  - ・記録写真の撮影  
※設営内容、進行内容については、シンポジウムの内容を踏まえて検討する

#### エ 参加者の募集等に係る事務

- シンポジウム・アイデアコンテスト特設 WEB サイトの作成
- ・シンポジウム・アイデアコンテストそれぞれについて、WEB からの申込みが可能な WEB サイトを作成する（シンポジウム・アイデアコンテスト一体のサイトを想定）。
  - ・WEB サイトでは、開催内容等について、閲覧者が必要とする情報がわかりやすく確認できるデザインとすること。
- シンポジウム応募事務局の設置（一般募集、受付、申込リスト作成、参加案内等）
- ※一般参加者は事前申込制とすること
  - ・問合せ電話回線、受付住所の設置（申込期間中（平日午前9時～午後5時土・日・祝は除く）事務局を設置し、シンポジウム専用回線を設置すること）
  - ・問合せに対する電話、メール、FAX及び書面での郵送対応
  - ・申込リストの作成（必要に応じ、抽選等を実施すること）
  - ・参加案内の送付（ハガキ）
- アイデアコンテスト事務局の設置（応募者リスト作成、結果通知等）
- ・応募者リストの作成（応募書類は本委員会から送付する）
  - ・書類審査の結果通知  
（結果を記したハガキを全応募者へ送付、併せて、WEB サイトにも結果を掲載）  
※書類審査は本委員会で行う

#### オ 広報・宣伝活動

- ・広報物（チラシ・ポスター等）のデザイン制作・印刷・郵送等配布、特設 WEB サイトの開設  
※広報物の発行数等は、提案内容により主催者と協議のうえ決定  
※アイデアコンテストについては、チラシ及びポスターは本委員会で作成済
- ・広報については、シンポジウム・アイデアコンテストともに十分な応募が見込める内容とすること  
※学生等の若年層も含め、幅広い層の応募が見込める内容とすること
- ・本シンポジウム・アイデアコンテストへの集客等はもちろんのこと、文化庁の京都移転について京都内外の幅広い世代に周知するため、上記以外（新聞、フリーペーパー、テレビ、ラジオ等）の広報活動で有効なものを1つ以上実施すること。

- (2) その他シンポジウム・アイデアコンテストの効果をより高める取組（任意）  
当事業の効果をより高めるための取組があれば実施すること（予算の範囲内で実施できるものに限る） 例：シンポジウムのライブ配信・動画配信等

- (3) 成果物（事業報告書）の提出  
当事業の広報等に使用するため、事業内容をテキスト、写真等を使って分かりやすくまとめた事業報告書を作成し、データと合わせて事業終了後、すみやかに提出すること
- ・広報チラシ等（紙ベース及びデータ）

- シンポジウム参加者名簿、アイデアコンテスト応募者名簿（紙ベース及びデータ）
  - シンポジウム出席状況の最終的なとりまとめ（紙ベース及びデータ）
  - 配付資料等（紙ベース及びデータ）
  - アイデアコンテスト応募書類及び審査書類等（紙ベース及びデータ）
  - 回収したシンポジウムアンケート回答票（原紙）及びアンケート分析結果（紙ベース及びデータ）
  - 開催記録、議事要旨、文字起こし（紙ベース及びデータ）
  - 記録写真 等
- ※議事要旨、記録写真データなどは本委員会構成団体の WEB サイトに掲載する予定